

金利指標に関する実務者ネットワークの維持について（案）

- 金利指標フォーラムは、本邦市場において日本円金利指標を参照する取引が円滑に行われることを目的に、幅広い金融市場参加者および金利指標ユーザーが意見交換等を行うための場として、2022年3月に設立された。これまでの活動を通じ、日本円LIBORの代替金利指標については概ね円滑に利用されていること、米ドルLIBORの移行対応は概ね完了したことが確認されており、金利指標フォーラムの設立目的に基づく活動は区切りを迎えている。
- 他方で、国際的には、米ドルLIBORの公表が停止された2023年6月末以降も、新たな金利指標の利用と選択次第では、金融安定を損なう可能性があることが意識されており、金利指標の利用状況把握の重要性が指摘されている。
- こうした点を踏まえると、本フォーラムの活動を終了するとしても、これまでの金利指標改革を通して構築された実務者のつながりは緩やかなネットワークという形で維持し、金利指標の利用状況等に関する情報共有や仮に、再び国際的な議論が必要となった場合の会議体の受け皿とすることも選択肢と考えられる。具体的には、以下の方向で検討を進めることとしてはどうか。
 - ✓ 金利指標に関する実務者である、金利指標フォーラムのメンバー・傍聴者・オブザーバー間でのネットワークを維持。参加者負担等を考慮し、会合の定例的な開催は想定しない（議長・副議長やワーキング・グループも設置しない）。
 - ✓ ネットワークの活動内容は、国際機関・海外法域における金利指標の利用に関する議論や、わが国における金利指標の頑健性向上に向けた取り組みについて、事務局を務める日本銀行からのメールによる情報共有を想定。
 - ✓ 事務局は、必要に応じてわが国における金利指標の利用状況に関するアンケートを実施し、ネットワーク参加者に共有。
 - ✓ 現在のフォーラムメンバー等に対し、年内にネットワークへの参加意向を確認のうえ、年明け以降、ネットワーク形式に移行。
 - 金利指標に関する実務者から新規に参加希望があった場合には、事務局において、ネットワークへの新規参加を検討する。
なお、ネットワーク参加者のリストは公表を想定。